2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

社会

1　問1（A）（2点）

太平洋

解説: 三大洋は、太平洋・大西洋・インド洋。このうち最も面積が大きいのは**太平洋**で、地球の表面のおよそ3分の1をしめる。日本列島は太平洋の北西のふちにあり、太平洋をはさんだ東側には、北アメリカ大陸と南アメリカ大陸がある。

採点ポイント: 「太平洋」。「大西洋」（ヨーロッパ・アフリカと南北アメリカの間）と取りちがえない。

1　問1（B）（2点）

アフリカ大陸

解説: 北部に世界最大の砂漠であるサハラ砂漠が広がり、地中海に注ぐナイル川が流れる大陸は**アフリカ大陸**。赤道は、大陸の中央部のビクトリア湖の付近を通る。そのため、赤道付近の熱帯から、南北に向かって乾燥帯や温帯が広がっている。

採点ポイント: 「アフリカ大陸」(「アフリカ」だけでも可)。

1　問2（3点）

カ

解説:
Ⅲ（カイロ）：一年を通して降水量がほとんどなく、年降水量は30mmにも満たない。これは**乾燥帯**の**砂漠気候**の特色。カイロはサハラ砂漠の東のはしにあり、ナイル川の水を利用して農業が行われている。
Ⅱ（ブエノスアイレス）：1月ごろの気温が最も高く、7月ごろの気温が最も低い。**南半球**では、北半球と季節が逆になるため、日本の夏にあたる6～8月が冬になる。
Ⅰ（ニューオーリンズ）：7～8月ごろの気温が最も高く、一年を通して雨が多い。北半球の温帯（温暖湿潤気候）の都市。

よって カイロ－Ⅲ　ブエノスアイレス－Ⅱ。

採点ポイント: ⅠとⅡは気温の変わり方が逆の形。気温の山が7月ごろにあれば北半球、1月ごろにあれば南半球。

1　問3（3点）

エ

解説:

X：ブラジルやアルゼンチンがあるのは**南アメリカ大陸**。北部を赤道が通り、アマゾン川の流域には熱帯林が広がる。西側には、けわしいアンデス山脈が南北に連なる。

Y：日本は鉄鉱石のほとんどを輸入にたよっており、輸入相手国の第1位は**オーストラリア**（およそ6割）、第2位はブラジル。オーストラリアは石炭の輸入相手国としても第1位である。サウジアラビアは、日本の**原油**の輸入相手国の第1位。

よって X－南アメリカ大陸　Y－オーストラリア。

採点ポイント: 日本の資源の輸入相手国は「鉄鉱石・石炭＝オーストラリア」「原油＝サウジアラビア」。

1　問4（3点）

ウ

解説:

ア：中国の人口の約9割は**漢族**。チベット族やウイグル族など50をこえる少数民族は、人口の約1割である。

イ：中国の西部の内陸部は、降水量が少なく、砂漠や高原が広がっている。稲作がさかんなのは、雨の多い南部の長江流域など。

ウ（正しい）：中国は、外国の企業を受け入れて工業化を進め、沿海部を中心に工場が集まった。パソコンやスマートフォン、家電製品などの生産量は世界有数で、世界中に輸出していることから、「**世界の工場**」とよばれている。

エ：工業が発展した沿海部と、農業が中心の内陸部との間の**経済格差**（所得の差）が大きな課題になっている。

採点ポイント: 「世界の工場」は、多くの工業製品を生産・輸出する国をたとえた言葉。

1　問5（3点）

ア・エ・オ

解説:

ア 正：アフリカ州には、緯線や経線にそった直線的な**国境線**が多い。たとえば、エジプトとスーダンの国境線の一部は北緯22度の緯線にそっている。

イ 誤：アメリカ合衆国の西部の内陸には、けわしい**ロッキー山脈**が連なり、なだらかなアパラチア山脈は東部にある。

ウ 誤：アフリカ州の国々の多くは、第二次世界大戦後に独立した。特に17か国が独立した1960年は「アフリカの年」とよばれる。

エ 正：メキシコ湾岸やカリブ海の地域では、夏から秋にかけて、**ハリケーン**とよばれる熱帯低気圧が発生し、強い風や大雨、高潮による被害が出ることがある。

オ 正：北緯37度付近より南の、温暖な地域を**サンベルト**という。土地が広く、労働力が得やすいことなどから、1970年代ごろから、コンピュータや航空宇宙産業などの先端技術産業が発達した。

採点ポイント（3点満点）：ア・エ・オの3つすべてを選んで3点。1つでも誤りの選択や不足があれば0点。

1　問6（4点）

ヨーロッパの国々が植民地として分ける際、民族の分布に関係なく緯線や経線で境界線を引き、独立後も国境としたから。

解説: アフリカ州の多くの地域は、19世紀の終わりごろまでに、ヨーロッパの国々の**植民地**になった。このとき、ヨーロッパの国々は、そこに住む人々の**民族**や言語のまとまりを考えずに、緯線や経線などを利用して境界線を引いた。独立後の国々の多くはこの境界線を国境としたため、直線的な国境が多い。その結果、一つの民族が複数の国に分かれたり、一つの国の中に多くの民族がいたりして、民族の対立や紛争の原因になることもある。

採点ポイント（4点満点）:
2点：ヨーロッパの国々の植民地として分けられたこと
2点：民族の分布（まとまり）に関係なく、緯線や経線で境界線を引いたこと
指定の2語のうち1語でも欠けるものは1点減点

2　問1（A）（2点）

やませ

解説: 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側にふく、冷たく湿った北東の風を**やませ**という。やませがふくと、くもりや霧の日が続いて日照不足になり、気温も上がらないため、稲が育たない**冷害**が起こりやすい。そのため、寒さに強い稲の品種の開発が進められてきた。

採点ポイント:「やませ」(ひらがな・カタカナどちらでも可)。冬の北西の季節風と区別する。

2　問1（B）（2点）

高原野菜

解説: 標高が高く、夏でもすずしい高原の気候を生かしてつくられるレタスやキャベツ、はくさいなどを**高原野菜**という。群馬県の嬬恋村や長野県の八ヶ岳のふもとなどでは、ほかの産地の出荷が少ない夏に出荷時期をおくらせる**抑制栽培**が行われ、高い価格で売ることができる。

採点ポイント:「高原野菜」。「高冷地野菜」も可。「抑制栽培」は栽培のくふうの名前で、野菜の名前ではないので不可。出荷時期を早める促成栽培と区別する。

2　問2（3点）

オ

解説:
Ⅱ（愛知県）：人口が700万人をこえて最も多く、製造品出荷額等は全国第1位。名古屋市を中心とする中京工業地帯にあり、豊田市などで自動車工業がさかん。
Ⅲ（山梨県）：面積・人口とも最も小さいが、果実の産出額が多い。甲府盆地の扇状地では、水はけのよさを生かして、ぶどうやももの栽培がさかんで、どちらも生産量は全国第1位。
Ⅰ（秋田県）：面積が最も大きく、全国でも有数の広さ。秋田平野などで稲作がさかんな、東北地方の日本海側の県で、工業の規模は小さい。

よって Ⅰ－秋田県　Ⅱ－愛知県　Ⅲ－山梨県。

採点ポイント: 製造品出荷額等で愛知県、果実の産出額で山梨県を決める。

2　問3（3点）

ウ

解説:

ア：北海道では、石狩平野などで稲作もさかんで、米の生産量は全国有数。寒さに強い品種の開発や、土地の改良（客土）が進められてきた。

イ：関東平野の台地は水を得にくく、畑や住宅地として利用されることが多い。

ウ（正しい）：北海道の**十勝平野**では、大型の機械を使って、じゃがいもやてんさい、小麦などを広い畑で栽培する大規模な**畑作**が行われている。東部の**根釧台地**は、夏も気温が低く作物が育ちにくいため、乳牛を飼って牛乳や乳製品をつくる**酪農**がさかん。関東平野の台地は、富士山や浅間山などの火山灰が積もってできた赤土の**関東ローム**におおわれている。

エ：北海道の農家の1戸あたりの耕地面積は、全国の平均の10倍以上と広い。

採点ポイント: 北海道＝大規模な畑作（十勝平野）と酪農（根釧台地）。関東ローム＝火山灰の赤土。

2　問4（3点）

埼玉県に住む人の多くが、昼間に東京都など県外の会社や学校へ通勤・通学しているから。

解説: 夜間人口はそこに住んでいる人の数、昼間人口は、通勤・通学で移動したあとの、昼間にそこにいる人の数。埼玉県には、東京都の会社や学校に**通勤・通学**する人が多く住んでいるため、昼間になると人口が約90万人減る。反対に、会社や学校が多く集まる東京都は、昼間人口が夜間人口より約270万人多い。

採点ポイント（3点満点）:

2点：埼玉県に住む人が、昼間に県外（東京都など）へ移動すること

1点：その目的が通勤・通学であること

指定の2語のうち1語でも欠けるものは1点減点

2　問5（3点）

ウ

解説:

X：自然環境や文化を守りながら、それらを体験したり学んだりする観光を**エコツーリズム**という。世界自然遺産の知床では、ガイドといっしょに決められた道を歩くなど、自然を守るためのルールを設けている。フェアトレードは、発展途上国の農産物などを、生産者に公正な価格で買い取るしくみ。

Y：魚や貝、海藻などを、出荷するまで、いけすやいかだなどで人の手で育てる漁業を**養殖業**という。三陸海岸は、入り江が多く波がおだやかなリアス海岸なので、かきやわかめの養殖がさかん。栽培漁業は、卵からかえした稚魚や稚貝をある程度まで育ててから海や川に放流し、成長してからとる漁業。

よって X－エコツーリズム　Y－養殖業。

採点ポイント: 「出荷するまで育てる＝養殖業」「育てて放流する＝栽培漁業」を区別する。

3　問1（A）（3点）

中大兄皇子（天智天皇）

解説: 645年に中臣鎌足とともに蘇我氏をたおして大化の改新を始めた**中大兄皇子**は、663年の白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れると、唐や新羅がせめてくることに備えて、九州北部に水城や山城を築いた。その後、大津宮で即位して**天智天皇**となり、全国で初めての戸籍をつくった。

採点ポイント:「中大兄皇子」。「天智天皇」も可。

3　問1（B）（3点）

口分田

解説: 律令制のもとでは、6年ごとにつくられる戸籍にもとづいて、6歳以上の男女に**口分田**があたえられ、その人が死ぬと国に返された（班田収授法）。口分田をあたえられた人々は、収穫の約3%の稲を**租**として納めたほか、調・庸や兵役などの重い負担を負った。

採点ポイント:「口分田」。漢字の誤り（「区分田」など）は不可。

3　問2（1）（2点）

浄土信仰

解説: 平安時代の中ごろ、釈迦の教えがおとろえて世の中が乱れるという考えが広まり、社会の不安が高まった。そのなかで、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれ変わることを願う**浄土信仰**が、貴族や民衆の間に広まった。藤原頼通が宇治に建てた**平等院鳳凰堂**は、極楽浄土のようすをこの世に表そうとした阿弥陀堂である。

採点ポイント: 漢字4字指定。「浄土信仰」。

3　問2（2）（3点）

酒屋や土倉などの金融業者からの借金を帳消しにする徳政を求めて、借金の証文を破り捨てようとしたから。

解説: 室町時代には、酒屋や土倉が高い利息でお金を貸す金融業を営んでいた。1428年、近江の馬借（運送業者）をきっかけに、京都の周辺の農民たちが、**借金**の帳消しを求める**徳政**をとなえて立ち上がり、酒屋や土倉、寺院をおそって証文を破り捨てた。これを**正長の土一揆**という。このように、農民などが団結して借金の帳消しなどを求めて起こした一揆を**土一揆**（徳政一揆）という。

採点ポイント（3点満点）:
2点：借金を帳消しにする（徳政を求める）こと
1点：酒屋・土倉が金融業者（お金を貸していた）であることや、証文を破り捨てることにふれている
「借金」の語が無いものは1点減点

3　問3（3点）

ウ

解説:
X（誤り）：ルターが宗教改革を始めたのは**16世紀**の初め（1517年）。日本では戦国時代のころにあたる。
Y（正しい）：ポルトガルの**バスコ・ダ・ガマ**は、1498年に、アフリカ大陸の南端の喜望峰を回ってインドに到達した。これにより、香辛料などのアジアの産物を、海を通ってヨーロッパに直接運ぶことができるようになった。
Z（正しい）：1333年に鎌倉幕府がほろびると、翌年、**後醍醐天皇**は**建武の新政**を始めた。しかし、公家を重んじる政治に武士の不満が高まり、足利尊氏が兵をあげたため、2年あまりでくずれた。その後、朝廷が南朝と北朝に分かれて争う南北朝時代になった。

よって X－誤　Y－正　Z－正。

採点ポイント: 大航海時代（15世紀末～16世紀）と宗教改革（16世紀）の世紀を区別する。

3　問4（3点）

エ

解説:
a：紫式部が『源氏物語』を書いたのは**平安時代**（国風文化）。
b（正しい）：室町時代には、禅宗の影響を受けて、水を使わずに石や砂で自然の風景を表す**枯山水**の庭がつくられた。
P：日光東照宮は、江戸時代に徳川家康をまつるために建てられた（陽明門は3代将軍の家光のときの建て替えで整えられた）。
Q（室町時代）：京都の**龍安寺の石庭**は、白い砂と15個の石で自然を表した、枯山水の代表的な庭である。室町時代には、ほかに、足利義政が建てた銀閣と同じ敷地にある東求堂の書院造や、雪舟の水墨画などが生まれた。

よって b・Q の組み合わせ。

採点ポイント: 「室町＝禅宗・枯山水・書院造・水墨画」「平安＝かな文字の文学」「江戸＝日光東照宮」。

4　問1（4点）

石油危機

解説: 1973年、第四次中東戦争が起こると、アラブの産油国は原油の生産を減らし、価格を大きく引き上げた。そのため、石油を輸入にたよっていた日本などの先進工業国の経済は大きく混乱した。これを**石油危機**（オイル・ショック）という。日本では物価が急に上がり、1950年代の中ごろから続いた**高度経済成長**が終わった。

採点ポイント: 漢字4字指定。「石油危機」。「オイル・ショック」は字数指定に合わないので不可。

4　問2（3点）

イ

解説:

P：1868年の鳥羽・伏見の戦いから、翌年の函館（五稜郭）の戦いまで続いた、新政府軍と旧幕府軍の戦いを**戊辰戦争**という。新政府軍が勝利し、新政府による全国の支配が固まった。西南戦争は、1877年に西郷隆盛を中心とする鹿児島の士族が起こした反乱。

Q：1925年、加藤高明内閣のもとで**普通選挙法**が成立し、納税額による制限がなくなって、満25歳以上のすべての男子に選挙権があたえられた。同じ年に定められた治安維持法は、共産主義などの運動を取りしまるための法律。

よって P－戊辰戦争　Q－普通選挙法。

採点ポイント: 1925年の2つの法律（普通選挙法・治安維持法）の内容を区別する。

4　問3（5点）

女工は、1日に14時間をこえるような長時間の労働をしていたのに、賃金は男性の工員よりも低かった。

解説: 日本では、1890年代に紡績業や製糸業などの軽工業を中心に**産業革命**が進んだ。工場で働く労働者の多くは、農村から出てきた若い**女工**で、1日14時間をこえる**長時間**の労働をしいられることもあり、**賃金**も低かった。工場で働く人々の環境は悪く、病気になる人も多かった。そのため、労働者を保護する法律を求める声が高まり、のちに工場法が定められた。

採点ポイント（5点満点）:

2点：労働時間がとても長かった（長時間労働）こと

2点：賃金が男性よりも低かったこと

1点：「長時間」「賃金」の2語を正しく使い、女工の労働の問題点として書けていること

4　問4（3点）

ウ

解説: 年代の順は次のとおり。

④ 工場法が制定される（**1911年**）：労働者を保護するための日本で初めての法律。ただし、例外が多く、実施は1916年からだった。

① 大正デモクラシー（**1910年代〜1920年代**）：吉野作造は1916年に民本主義をとなえ、政治に民衆の意見を反映させるべきだと主張した。

③ 二・二六事件（**1936年**）：陸軍の青年将校らが首相官邸などをおそった事件。このあと軍部の発言力がいっそう強まった。

② 特需景気（**1950年〜**）：朝鮮戦争で、アメリカ軍が日本に大量の物資を注文し、日本の経済は復興を早めた。

よって ④→①→③→②。

採点ポイント: 明治（1911年）→大正（1910年代〜）→昭和戦前（1936年）→戦後（1950年）の順。

4　問5（3点）

イ・ウ・オ

解説:
ア 誤：ベルリンの壁が築かれたのは**1961年**。1989年には、ベルリンの壁が**取りこわされ**、翌年に東西ドイツが統一された。
イ 正：第二次世界大戦後、アメリカ合衆国を中心とする西側（資本主義）の国々と、ソ連を中心とする東側（社会主義）の国々が対立した。アメリカとソ連が直接戦火を交えなかったことから、**冷戦**（冷たい戦争）とよばれた。
ウ 正：1949年、西側の国々は**北大西洋条約機構**（**NATO**）を結成した。これに対し、東側の国々は1955年にワルシャワ条約機構を結成した。
エ 誤：**国際連合**は、第二次世界大戦が終わった1945年に設立された。1991年には、ソ連が解体した。
オ 正：1962年の**キューバ危機**では、アメリカ合衆国がキューバの海上を封鎖し、核戦争の一歩手前までいったが、ソ連がミサイル基地を撤去して、危機は回避された。

採点ポイント（3点満点）：イ・ウ・オの3つすべてを選んで3点。1つでも誤りの選択や不足があれば0点。

5　問1（3点）

少子高齢化

解説: 生まれる子どもの数が減る**少子化**と、65歳以上の高齢者の割合が増える**高齢化**が同時に進むことを、**少子高齢化**という。日本では、一人の女性が一生のうちに産む子どもの数の平均（合計特殊出生率）が低くなり、平均寿命がのびたことで、少子高齢化が急速に進んだ。働く世代が減るなかで、年金や医療などの社会保障を支える負担が大きくなることが課題である。

採点ポイント: 漢字5字指定。「少子高齢化」。

5　問2（5点）

核家族世帯の割合はあまり変わらないが、三世代世帯などのその他の世帯の割合が大きく減り、一人で暮らす単独世帯の割合が大きく増えた。

解説: 夫婦のみ、夫婦と未婚の子ども、ひとり親と未婚の子どもからなる世帯を**核家族**世帯という。表6を見ると、核家族世帯の割合は1960年も2020年も50％台で大きくは変わらない。一方、祖父母と親と子どもがいっしょに暮らす三世代世帯などの割合は30％から8％に減り、一人で暮らす**単独世帯**の割合は17％から38％に増えた。単独世帯の増加には、結婚しない人や、子どもと別に暮らす高齢者が増えたことなどが関係している。

採点ポイント（5点満点）：
2点：単独世帯の割合が大きく増えたこと
2点：核家族世帯の割合はあまり変わらない（三世代世帯などが減った）こと
1点：「核家族」「単独世帯」の2語を正しく使い、表の変化として書けていること

5　問3（3点）

ウ

解説:
X：フランスの**ルソー**は、『社会契約論』を著して**人民主権**を主張した。イギリスのロックは、『統治二論』で、人々が政府に抵抗する権利（抵抗権）を主張した。
Y：国や地方公共団体がもつ情報を、国民の請求に応じて公開するしくみを**情報公開制度**という。国では1999年に情報公開法が制定された。この制度は、新しい人権の一つである**知る権利**を保障するためのものである。環境アセスメント（環境影響評価）は、大規模な開発を行う前に、環境への影響を調べる制度。

よって X－ルソー　Y－情報公開制度。

採点ポイント:「ルソー＝社会契約論・人民主権」「ロック＝統治二論・抵抗権」「モンテスキュー＝法の精神・三権分立」。

5　問4（3点）

平和主義

解説: 日本国憲法は、**国民主権**、**基本的人権の尊重**、**平和主義**を三つの基本原理としている。第二次世界大戦の反省から、憲法の前文で平和を願う決意を示し、**第9条**で、戦争を放棄すること、戦力を持たないこと、交戦権を認めないことを定めている。また、日本は、核兵器を「持たず、つくらず、持ちこませず」という非核三原則をかかげている。

採点ポイント: 漢字4字指定。「平和主義」。

5　問5（3点）

ウ

解説: フランスの**モンテスキュー**は、1748年に**『法の精神』**を著し、国の権力を立法・行政・司法の三つに分けて、たがいに抑制し合うようにすることで、権力の乱用を防ぎ、国民の自由を守ることができると説いた（三権分立）。日本国憲法でも、立法権を国会、行政権を内閣、司法権を裁判所が受け持っている。
ア：ロックはイギリスの思想家で、抵抗権を主張した。
イ：リンカンは、「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉で知られるアメリカ合衆国の大統領。
エ：マルクスは、社会主義の考え方を説いたドイツの思想家。

採点ポイント:「法の精神＝モンテスキュー＝三権分立」。

5　問6（3点）

ア

解説:

X：全員の賛成で決める方法を**全会一致**という。全員が納得できるが、意見がまとまらないと、決定までに長い時間がかかることがある。過半数は「半分より多い数」のことで、全員の賛成ではない。

Y：**多数決**は、一定の時間内に決定できるが、**少数意見**が反映されにくいという短所がある（多数の人の意見が反映されにくいのではない)。そのため、決める前に十分に話し合い、少数意見を尊重することが大切である。

よって X－全会一致　Y－少数意見が反映されにくい。

採点ポイント: 全会一致＝全員が納得・時間がかかる、多数決＝早く決まる・少数意見が反映されにくい。

6　問1（3点）

ア

解説:

X：15世紀の初めに成立した**琉球王国**は、明に朝貢するとともに、日本や朝鮮、東南アジアの国々と貿易を行い、ある国から輸入した産物を別の国へ輸出する**中継貿易**で栄えた。朱印船貿易は、江戸時代の初めに、幕府の許可状（朱印状）をもった船が東南アジアで行った貿易。

Y：奈良時代の聖武天皇のころには、遣唐使がもたらした唐の文化の影響を受けた、国際色豊かな**天平文化**が栄えた。東大寺の**正倉院**には、聖武天皇の愛用品などが納められている。国風文化は、平安時代の中ごろに栄えた、日本の風土や生活に合った文化。

よって X－中継貿易　Y－天平文化。

採点ポイント: 「琉球王国＝中継貿易」「奈良時代＝天平文化・正倉院」。

6　問2（3点）

エ

解説:

X：人口が増えて口分田が不足したため、朝廷は、743年に**墾田永年私財法**を出し、新しく開墾した土地の永久の私有を認めた。その結果、貴族や寺社が開墾を進めて私有地を広げ、のちの**荘園**のもとになった。班田収授法は、戸籍にもとづいて口分田をあたえ、死ぬと返させた制度。

Y：織田信長は、1576年から、琵琶湖のほとりの安土に、5層の天守をもつ壮大な**安土城**を築き、天下統一の拠点とした。大阪城は、豊臣秀吉が石山本願寺のあとに築いた城。

よって X－墾田永年私財法　Y－安土城。

採点ポイント: 「743年＝墾田永年私財法」「織田信長＝安土城」「豊臣秀吉＝大阪城」。

6　問3（3点）

イ

解説:

ア：宋銭は、平安時代の末から鎌倉時代・室町時代にかけて、宋との貿易で輸入された銅銭。奈良時代には、708年につくられた和同開珎などが使われた。

イ（正しい）：鎌倉時代には、近畿地方や西日本で、米を収穫したあとの田で麦をつくる二**毛作**が広まった。牛や馬を使って耕したり、草や木の灰を肥料にしたりして、生産力が高まった。江戸時代には、幕府が1636年から**寛永通宝**という銅銭を大量につくり、全国に流通させた。

ウ：和同開珎は奈良時代（708年）につくられた貨幣。室町時代には、明から輸入した明銭（永楽通宝など）が使われた。

エ：江戸時代には、備中ぐわや千歯こきなどの新しい農具が広まり、農業の生産力が高まった。

採点ポイント:「鎌倉＝二毛作の広まり」「奈良＝和同開珎」「室町＝明銭」「江戸＝寛永通宝」。